

1 連セラピカート TB-991

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。ここに示した事項は安全にお使いいただくことにより、事故を未然に防止するためのものです。

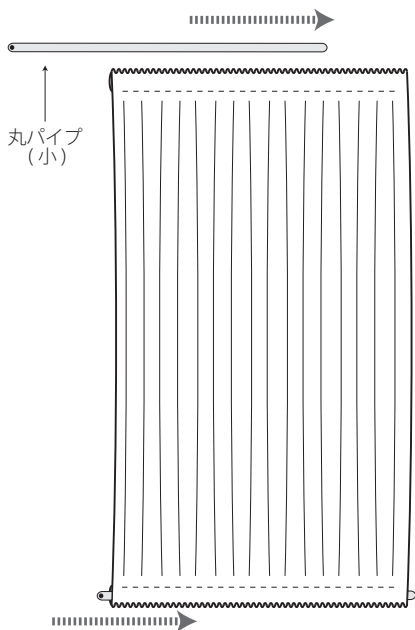
安全上のご注意

● ご使用の前に必ずお読みください。

- 設置する際には、必ず平らでしっかりした床の上に設置してください。傾いた場所に設置しますと転倒する恐れがあります。
- 局部的に強い荷重をかけると破損や転倒事故の原因となりますのでご注意ください。
- ご使用中に異常なゆれやゆるみ、がたつき、傾き、異常音等が発生したときは各部の締め付けボルトの再点検を行ってください。

組立方法

① カーテンの両端に丸パイプ(小)を通してください。

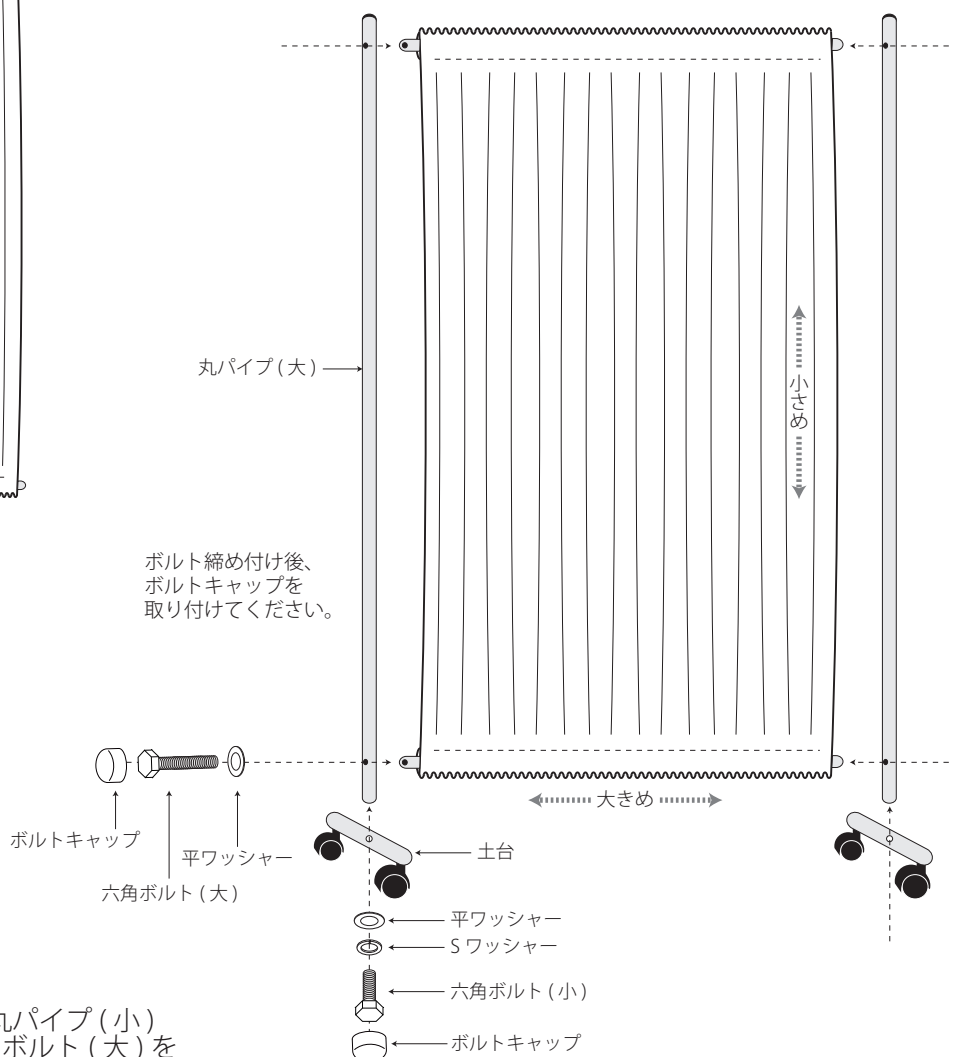


※ 生地に張りを出すために、生地の高さ方向に関しては、若干小さく仕上がっています。
組立時に生地を通した上側のパイプを取り付け、生地を引っ張りながら下側のパイプを取り付けてください。

幅方向に関しては、ギャザーを均等に入れるよう若干大きく仕上がっています。

② 下図のように丸パイプ(大)・丸パイプ(小)・土台を組み立ててください。

※ ボルトを締め付ける際は、パイプの隙間を無くし、ガタつかない程度に締め付けてください。くれぐれもボルトの締めすぎにご注意ください。パイプが変形する可能性があります。



ボルト締め付け後、ボルトキャップを取り付けてください。

※組み立て後の注意

組み立て後本製品がガタつく場合は丸パイプ(小)と丸パイプ(大)を固定している六角ボルト(大)を4カ所とも緩め、ガタつきがなくなるよう調整してください。調整する際は本製品を立てたまま六角ボルト(大)を緩め、キャスターが4箇所すべて床に設置している事を確認しながら六角ボルト(大)をゆっくり締め付けてください。
※床の状況によりガタつく頻度はことなります。

カーテンのお取扱いについて

● 繊維素材は伸縮します。

温度や湿度などによってカーテンは伸縮します。これは繊維素材の特徴であり、布で出来ている以上、避けられない性質です。カーテンにとっては高温、多湿は好ましくない環境であり、長くきれいにお使いいただくためには、室内環境の適切な調整が大切な条件となります。

● 日常のメンテナンスが大切です。

カーテンの汚れの原因は空気中のホコリ、煙草のヤニ、キッチンからの煙などで、時間が経つほど落ちにくくなります。日頃から掃除機のブラシやすきまノズルでホコリを払ったり、ハタキをかけたりなど、お部屋のお掃除と同じサイクルで行ってください。

● お洗濯は定期的に

使用条件によって差がありますが、ドレープカーテンは年に一度、レースカーテンは半年に一度のお洗濯をおすすめします。その際には、必ず取り扱い絵表示に従って行ってください。お手入れを怠ると、ホコリ等の付着物が日光、温度、湿度などで繊維を劣化させます。商品と使用状況によっては、数年間洗濯をせずにいた場合、1回の洗濯でカーテンが破れることもありえます。

カーテンのお洗濯について

● ご家庭でお洗濯する場合

ホコリを払い、シワにならないように屏風たたみしてください。

● ご家庭の洗濯機で洗う場合

一度に洗うのは1～2枚までにしてください。また他の繊維製品と一緒に洗いますと、色移りする場合がありますのでお避けください。

型くずれを防ぐ為にも、洗濯ネットに入れて洗濯することをお勧めします。

水量は「最大」水流は「弱」に設定して、40℃以下のぬるま湯か水で洗うようにしてください。

洗剤は普段お使いになっている洗濯洗剤か、デリケートな衣類用の中性洗剤をご使用ください。

すすぎの際、柔軟剤を入れると、風合い良くきれいに仕上がります。



● 手洗い・つけ置き洗いする場合

30℃以下の水かぬるま湯でやさしく押し洗いしてください。(もみ洗いはシワの原因になります。) その他は洗濯機洗いと同様です。

汚れのひどいカーテンには「つけ置き洗い」をお勧めします。水温は30～40℃程度で、30分～1時間程度した後、洗濯機か水洗いで洗濯してください。

● 脱水・干し方

脱水時間が長いとシワが取れにくくなりますので、ドレープで1分、レースなら30秒程度の脱水にしてください。

カーテンを洗濯している間に窓廻りの拭き掃除を済ませておくと、洗ったばかりのカーテンに汚れが付くのを防ぐことができます。

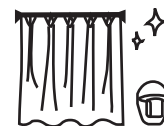
元々掛けてあったレールにカーテンを吊り込み、軽くシワを伸ばすようにして形を整えて、自然乾燥させてください。

屋外に干す場合は、日陰で乾燥させてください。

乾燥機は使用しないでください。

※ ドラム式乾燥機での乾燥は、寸法及び風合い変化が生じる恐れがありますので使用しないでください。

※ 洗濯機およびドラム式乾燥機をご使用される場合は洗濯用ネットのご使用をお勧めします。



● クリーニングに出す場合

信頼できるクリーニング店に依頼するようにしてください。

クリーニング店に渡す際は、寸法と洗濯ラベルの絵表示を必ず双方確認するようにしてください。

カーテンのお洗濯について

● お洗濯する前に…

カーテン裏面に縫い付けてある洗濯ラベルの「取扱絵表示」で、洗い方を確認してください。

洗濯絵表示の説明

洗い方 (水洗い)		ドライクリーニング	
	40℃までの液温で、洗濯機の弱水流、又は弱い手洗い (押し洗い) ができます。		ドライクリーニングができます。溶剤はパークロエチレン又は石油系のものを使用してください。
	30℃までの液温で、洗濯機の弱水流、又は弱い手洗い (押し洗い) ができます。		ドライクリーニングができます。溶剤は石油系のものを使用してください。
	40℃までの液温で、洗濯機の弱水流、又は弱い手洗い (押し洗い) ができます。 ネット使用		ドライクリーニングができません。
	30℃までの液温で、弱い手洗い (押し洗い) ができます。(洗濯機は使用できません。)	絞り方	
	水洗いはできません。		手絞りの場合は弱く、遠心脱水の場合は、短時間で絞ってください。
塩素漂白の可否			絞ることはできません。
	塩素系漂白剤による漂白ができます。	アイロンのかけ方	
	塩素系漂白剤による漂白ができません。		180℃～210℃の高温でかけてください。
干し方			140℃～160℃の中温でかけてください。
	つり干ししてください。		80℃～120℃の低温でかけてください。
	平干ししてください。		あて布をしてかけてください。(いずれの温度にも共通です。)
	日陰でつり干ししてください。		80℃～120℃の低温で、あて布をしてかけてください。
	日陰で平干ししてください。		アイロンがけはできません。